（一社）栃木県建設業協会座談会

専門外出身者が建設業の素晴らしさを語る

地域を支える未来の担い手にエール！

■座談会出席者■

鹿沼支部	井戸産業（株）	昌英氏
日光支部	榎本建設（株）	菜月氏
芳賀支部	松本建設（株）	真輔氏
那須支部	（株）大岩建設	延明氏
烏山支部	（株）岡工務店	睦人氏
足利支部	岩澤建設（株）	紀美恵氏
広報委員会	委員長	藤田本氏
	副委員長	榎本金子井池寺内氏
	副委員長	岩原田高村氏
	副委員長	正樹氏
		亘氏
		宏之氏

熱い気持ちが明日への道を拓く

栃木県知事　福田富一氏

希望と魅力ある建設業に

建設業は、社会資本の整備を通じて地域経済の持続的な成長を支え、災害時には、「地域の守り手」として現場の最前線に立ち復旧作業に当たるなど、重要な役割を担っています。

これら、地域住民の安全・安心や地域経済に貢献していくという建設業の役割は将来にわたり変わることはありません。

しかしながら、「きつい、汚い、危険」のイメージが強い建設業の現場は、若年層の入職者が少なく、将来の担い手不足が懸念されています。このためなど、次の世代を担う若者に「働き方改革」や「生産性向上」のため、遅くとも2020年までにICT技術を活用した工事などを推進し、職場環境の改善に努めるとともに、児童・生徒や学生に「地域社会を支える建設業」の魅力を伝えるなど、建設業の理解・関心を高めるための取り組みを進めていくとのことです。

県では、「働き方改革」や「生産性向上」のため、遅くとも2020年までにICT技術を活用した工事などを推進し、職場環境の改善に努めるとともに、児童・生徒や学生に「地域社会を支える建設業」の魅力を伝えるなど、建設業の理解・関心を高めるための取り組みを進めていくとのことです。

私は高校で建築を学び、技術さえあれば大学進学は不要と考えておりました。しかしながら、県庁入庁後、やはり大学で学びたいとの思い募られ、働きながら大学に通いました。仕事を終え、大学に通い、当時は一秒一秒を刻む社会に追われる生活でしょうか。いろいろ悩んでいました。

私が当時感じた思いのように、建設業に魅力を感じて、建設業を目指す人が少なくなっていたからこそ学び続けることができたと思っています。

若い世代が、この業界を牽引する時代が来ればよいなと思っています。「高い給与と長い休暇で希望が持てる」新3K（きつい、汚い、危険のイメージが強い業種ですが、ICTを活用した工事などにより、職場環境の改善が進み、誰でもが安心して働ける職場になっていくことを期待しています。

建設業は、良質な社会資本の整備や維持管理を通じて県民生活の向上や安全・安心社会を築き、事業活動を進めております。また、近年では、地震・台風・豪雨、豪雪など頻発する自然災害に対し、緊急対応や復旧活動など、地域の大切なインフラの保全や住民のくらしを守る「地域の守り手」としての役割が増しています。

建設業は、社会資本の整備を通じて地域経済の持続的な成長を支え、災害時には、「地域の守り手」として現場の最前線に立ち復旧作業に当たるなど、重要な役割を担っています。

これら、地域住民の安全・安心や地域経済に貢献していくという建設業の役割は将来にわたり変わることはありません。

しかしながら、「きつい、汚い、危険」という3Kのイメージが強い現在の建設業は、若年層の入職者が少なく、将来の担い手不足が懸念されています。このため

技術さえあれば大学進学は不要と考えておりました。しかしながら県庁入庁後、やはり大学で学びたいとの思い募られ、働きながら大学に通いました。仕事を終え、大学に通い、当時は一秒一秒を刻む社会に追われる生活でしょうか。いろいろ悩んでいました。

私が当時感じた思いのように、建設業に魅力を感じて、建設業を目指す人が少なくなっていたからこそ学び続けることができたと思っています。

若い世代が、この業界を牽引する時代が来ればよいなと思っています。「高い給与と長い休暇で希望が持てる」新3K（きつい、汚い、危険のイメージが強い業種ですが、ICTを活用した工事などにより、職場環境の改善が進み、誰でもが安心して働ける職場になっていくことを期待しています。

建設業は、良質な社会資本の整備や維持管理を通じて県民生活の向上や安全・安心社会を築き、事業活動を進めております。また、近年では、地震・台風・豪雨、豪雪など頻発する自然災害に対し、緊急対応や復旧活動など、地域の大切なインフラの保全や住民のくらしを守る「地域の守り手」としての役割が増しています。

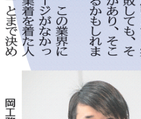
建設業は、社会資本の整備を通じて地域経済の持続的な成長を支え、災害時には、「地域の守り手」として現場の最前線に立ち復旧作業に当たるなど、重要な役割を担っています。

これら、地域住民の安全・安心や地域経済に貢献していくという建設業の役割は将来にわたり変わることはありません。

しかしながら、「きつい、汚い、危険」という3Kのイメージが強い現在の建設業は、若年層の入職者が少なく、将来の担い手不足が懸念されています。このため

■熱意と柔軟な「発想力」

高村宏之副委員長



岡工務店　菊池睦人氏

―最後に、次代を担う後輩たちへ向けて一言お願いします。

榎本　どんな仕事も、やる前から「苦労に向いている、向いていない、分野が違う」などと考えすぎず、やってみることが大切だと思います。実際に経験して失敗しても、そこに新たな発見があり、そこから何かつながるかもしれません。

私は、この業界に本当に良いイメージがなかったんです。「作業着を着て大」とは結婚しない」とまで言われていたんですが、そんな私がちゃ向けて二言お願いします。

榎本　どんな仕事も、やる前から「苦労に向いている、向いていない、分野が違う」などと考えすぎず、やってみることが大切だと思います。実際に経験して失敗しても、そこに新たな発見があり、そこから何かつながるかもしれません。

私は、この業界に本当に良いイメージがなかったんです。「作業着を着て大」とは結婚しない」とまで言われていたんですが、そんな私がちゃ今は建設業を着ています。今では「人のため、社会のため」という大きな役割を感じられる仕事だと理解しています。

岩澤建設　寺内紀美恵氏

大きく、理解が深まることを望んでいます。また生まれ変わってくれる若者は、ぜひ建設業界へ入ってください。専門的な事を学んでいただき、現場でたっぷり学べるし、熟意・柔軟な発想力があれば対応できます。

榎本　建設業には他の業種にはない魅力が間違いなくあります。辛いことも多くありますが、我慢し努力し続ければ必ず目標にたどり着けるはずです。そこにはその現場でしかわえない達成感、言葉で表現できない景色があります。一般常用される前のわたしたちのいる現場、何もなかったところに大きな構造物が出来上がった景色など、それが建設業の醍醐味です。

榎本　現在私は、右も左も分からない状態で現戦苦闘しています。でも、現場が出来上がっていくのを見、見届けることができ、そこに自分もひと役買っていることにやりがいを感じています。3K（きつい、汚い、危険のイメージが強い業種ですが、ICTを活用した工事などにより、職場環境の改善が進み、誰でもが安心して働ける職場になっていくことを期待しています。

榎本　建設業は地域の活性化担い、文明を陰で支えていきたいと言っても過言ではないでしょう。しかしながら、現在人手不足に陥っています。人が集まらなければ